

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	自殺対策関係事業	担当部局庁	障害保健福祉部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	精神・障害保健課	福田祐典			
会計区分	一般会計	施策名	障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備し、障害者の地域における生活を支援するとともに、自殺対策を推進する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自殺対策基本法第17・18条	関係する計画、通知等	自殺総合対策大綱 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自殺対策基本法では、「自殺未遂者及び自殺者の親族等に対する支援」を行うべきと定められているが、本事業はそのための経費である。また、「効果的な自殺予防対策を確立するため、自殺問題に関する調査研究や情報収集・発信等を行う拠点機能の強化を図ること」、並びに「総合的な対策を実施していく自殺予防総合対策センターを設置すること」が求められ、「自殺予防総合対策センター」を設置することとなり、当該センターの活動経費である。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①自殺未遂者の再度の自殺を防ぐために、入院中及び退院後の心理的ケアを中心に、医師、看護師、保健師等を対象にした研修、自死遺族の苦痛を和らげるための心理的ケアを中心に、遺族支援の民間団体等を主に対象にしたシンポジウムを開催する。 ②自殺問題に関する調査研究や情報収集・発信、地域のネットワーク構築、研修事業などを行っているが、それらの活動上で必要のある諸種の調査・分析作業を委託していた。(センターの独法化により21年度終了) ③一般かかりつけ医と精神科医の連携体制の強化や精神科医療従事者に対する研修を行い、精神医療の質の向上を図る。(これらの事業を行うため、各都道府県に設置されている地域自殺対策緊急強化基金に積み増しを行う)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	33	54	18	17	11
		補正予算			752		
		繰越し等					
		計	33	54	771	17	11
		執行額	7	26	762		
	執行率(%)	21	48	99			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	自殺者数の減少(数値目標は記載困難)	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	自殺未遂者ケア研修 自死遺族ケアシンポジウムの開催回数	活動実績 (当初見込み)		研修1回 シンポジウム2回	研修3回 シンポジウム1回	研修4回 シンポジウム1回  (研修4回 シンポジウム1回)	-  (研修4回 シンポジウム2回)
		算出根拠	* 研修等事業の実績額は、900万円 * 研修等回数は、5回				
単位当たりコスト	1,800,000(円/回数)						
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	自殺未遂者・自殺者遺族ケア対策事業	17	11	自殺未遂者・自殺者遺族ケア対策事業については、昨年度の執行状況を踏まえ、シンポジウムの開催地区数を見直したことによる縮減を行った。			
計	17	11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>事業計画において事業内容、経費の支出予定等を確認のうえ契約締結し、事業終了後の実績報告により最終確認を行い、確定額を精算払いしている。 今後も予算の執行状況等を踏まえつつ、施策の推進に必要な予算の確保を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>自殺未遂者・自殺者遺族ケア対策事業については、昨年度実績において予算と執行の乖離が生じており、その要因等を精査し、予算を縮減すること</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>自殺未遂者・自殺者遺族ケア対策事業については、昨年度の執行状況を踏まえ、シンポジウムの開催地区数を見直したことによる縮減を行った。 (反映額: ▲6百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省  
762百万円  
業務概要:  
①自殺未遂者の再度の自殺を防ぐために、入院中及び退院後の心理的ケアを中心に、医師、看護師、保健師等を対象にした研修、自死遺族の苦痛を和らげるための心理的ケアを中心に、遺族支援の民間団体等を主に対象にしたシンポジウムを開催する。  
②自殺問題に関する調査研究や情報収集・発信、地域のネットワーク構築、研修事業などを行っているが、それらの活動上で必要のある諸種の調査・分析作業を委託していた。(センターの独法化により21年度終了)  
③一般かかりつけ医と精神科医の連携体制の強化や精神科医療従事者に対する研修を行い、精神医療の質の向上を図る。(これらの事業を行うため、各都道府県に設置されている地域自殺対策

【競争入札】

A プロセスユニーク株式会社 9百万円

研修・シンポジウムの開催

【補助金】

B 47都道府県 753百万円

地域自殺対策緊急強化基金への積み増し

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.プロセスユニーク株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	講師謝金	2			
運営費	事務費	2			
借料	会場代	1			
賃金	アルバイト費用	1			
印刷製本費	テキスト印刷費	1			
通信運搬費	報告書発想費用	1			
旅費	講師旅費	1			
計		9	計		0
B.東京都			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
基金繰入金	基金への積み増し	68			
計		68	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	プロセスユニーク株式会社	自死遺族や自殺未遂者への研修事業	9	7	74%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	自殺防止対策(うつ病対策等)	68		
2	神奈川県	自殺防止対策(うつ病対策等)	48		
3	大阪府	自殺防止対策(うつ病対策等)	47		
4	愛知県	自殺防止対策(うつ病対策等)	40		
5	埼玉県	自殺防止対策(うつ病対策等)	39		
6	千葉県	自殺防止対策(うつ病対策等)	34		
7	兵庫県	自殺防止対策(うつ病対策等)	31		
8	北海道	自殺防止対策(うつ病対策等)	31		
9	福岡県	自殺防止対策(うつ病対策等)	28		
10	静岡県	自殺防止対策(うつ病対策等)	22		